

第3回 RA研究会 アンケート集計結果

アンケート回収数 61

Q1 現在の職種を次からお選びください	1. 大学教員	5
	2. 大学教員(任期付き)	11
	3. 大学事務職員(常勤)	24
	4. 大学事務職員(非常勤)	3
	5. 大学研究院	2
	6. 企業関係者	4
	7. 官公庁(FA含む)	6
	8. その他	6
Q2 年齢をお教えてください	1. 20歳代	5
	2. 30歳～35歳未満	12
	3. 35歳～40歳未満	12
	4. 40歳～45歳未満	12
	5. 45歳～50歳未満	10
	6. 50歳以上	9
	無回答	1
Q4 どのワークショップに参加しましたか？	1. WS1&2	28
	2. WS3	15
	3. WS4	18
Q5 この会をどうやってお知りになりましたか？(複数回答あり)	1. RA研究会のメーリングリスト	13
	2. 金沢大学フロンティアサイエンス機構のHP	14
	3. リサーチアドミニストレーション研究会のHP	11
	4. 知り合いの紹介	20
	5. UNITTで	4
	6. その他	5
Q6 どのような興味でこの研究会にご参加なさいましたか？(複数回答可)	1. 現在、リサーチアドミニストレーターのような業務(外部資金獲得・管理・産学連携等の研究支援を行っている)	37
	2. 産学連携に興味がある	15
	3. 大学の研究支援組織作りの参考にしたい	29
	4. リサーチアドミニストレーターについて知りたかった	29
	5. ファンディングエージェンシー側としてRAに興味がある	4
	6. その他ご自由に以下の欄でお答えください	
Q9 この研究会で参考になる情報が得られたり、有意義な議論ができましたか？	1. 大変有意義であった	35
	2. まあまあ有意義	22
	3. あまり参考にならなかった	2
Q10 プログラムの中で参考になったものは何ですか？(複数回答可)	1. 基調講演	32
	2. ゲストスピーチ	25
	3. ワークショップ	37
	4. ポスター発表	22
	5. ディスカッション	24
Q11 ワークショップのテーマ設定は適切でしたか？	1. 適切だった	52
	2. もう少し工夫が必要	5
	2とお答えされた方で、アイデアがありましたらご教示願います	0
	無回答	4
Q3 差支えない範囲で職名をお教えてください	・特任准教授	
	・産学官連携コーディネーター	
	・研究推進課長	
	・学術国際部長	
	・人材育成支援(事務)	
	・産学連携推進本部特任准教授	
	・准教授	
	・研究推進室担当掛長	
	・RA(講師)	
	・研究企画課長	
	・特任専門職員	
	・知財	
	・契約グループ主任	
	・課長	
	・代表取締役	
	・学術研究部長	
	・教授	
	・助教	
・アソシエイト		
・アシスタントコーディネーター/技術コーディネーター		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役経営管理室長</li> <li>・研究生</li> <li>・特任教授/リサーチアドミニストレーター</li> <li>・研究国際部研究推進課職員</li> <li>・事務職(主任)</li> <li>・総務 主事</li> <li>・研究企画課長</li> <li>・係長</li> <li>・産学連携係長</li> <li>・研究員</li> <li>・特任研究員</li> <li>・RA研究員</li> <li>・産学連携課班長</li> <li>・研究企画課班長</li> <li>・主査</li> <li>・主任</li> </ul>	
Q7 現在どのような業務に携わっていますか？(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイエンス系プロジェクトの推進・支援</li> <li>・研究推進に関わる事務</li> <li>・大学の知財を社会に発信。社会からのニーズの汲み取り、マッチング。大学の研究内容の理解と把握。</li> <li>・産学連携コーディネーター人材育成支援(事業名:新産業創出人材育成事業)</li> <li>・産学連携</li> <li>・外部資金獲得等の学内支援。不正経理防止のため関連業務</li> <li>・教育、研究、管理、運営すべての高度支援・開発</li> <li>・外部資金の獲得など</li> <li>・研究推進課特任専門職員として勤務</li> <li>・知財創出支援</li> <li>・共同研究契約、委託事業の契約・経理・決算等。</li> <li>・大学のA-STEPのマネジメント(事業化)、研究開発企画</li> <li>・研究推進に関わる戦略策定、実施。産学官連携活動の企画立案</li> <li>・産学連携学内組織の運営(RA業務を含む)、大学の知財マネジメント</li> <li>・全学的な研究支援等</li> <li>・研究支援、競争的資金の獲得</li> <li>・申請書、報告書作成補助。地域連携コーディネーター。知財管理、技術コーディネーター</li> <li>・URA制度の企画</li> <li>・産学連携、知財相談、競争的資金申請書作成 他</li> <li>・研究支援、競争的資金の獲得</li> <li>・Q6回答1. 3. 4の研究支援業務の他に給与、人事業務に7年間従事</li> <li>・外部資金の獲得及び管理</li> <li>・資金配分管理システムの運用</li> <li>・知財、補助金申請</li> <li>・学外連携業務等</li> <li>・研究戦略立案</li> <li>・研究推進系</li> <li>・産学連携契約業務</li> <li>・研究プロジェクトの推進支援</li> <li>・所属機関の研究成果の事業他に向けたRAのような内容を含む一連の業務。(外部資金の獲得、知財、共同研究推進、プロジェクトマネジメント、事業承認のための開発ロードマップ作成等)</li> <li>・研究関係の事務</li> <li>・ERATOプロジェクト運営</li> <li>・研究支援、産学連携支援事務</li> </ul>	
Q8 あなたのリサーチアドミニストレーターの定義を教えてください(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究支援、マネジメント</li> <li>・既存の事務機構の指揮命令系統に入らずに支援業務を行う人</li> <li>・高度専門職事務人材</li> <li>・研究者の研究推進のための活動等を行う者</li> <li>・研究費獲得支援、研究の推進</li> <li>・あるべき姿としてはpost.preの2つに分けられる。postは私系業務でコンプライアンス、知財、経理など→大学に 固定。preは研究者よりの業務研究経験のあポストクなどの方(業務→研究をPRできる。理解でき支援できる。助教・研究員に近い→pjごとに採用され流動的)</li> <li>・人が嫌がること、苦手なことを喜んでやる人</li> <li>・研究者と事務の橋渡し。研究者の研究時間を助けられる人。研究知識のある事務よりの人</li> <li>・専門職事務員</li> <li>・Pre-Award + Post-Award です</li> <li>・研究支援・推進に関係がある業務を携わる人全て</li> <li>・研究者にかかる各種業務を支援。研究に専念できる環境をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究知識</li> <li>研究支援全般</li> <li>専門性</li> <li>研究費獲得・管理</li> <li>研究費獲得・管理</li> <li>研究費獲得・管理</li> <li>調整役</li> <li>研究知識</li> <li>専門性</li> <li>研究費獲得</li> <li>研究全般</li> <li>研究全般</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究のアウトプットの適正化に役立つ人材(成果の拡大・ニーズへの対応etc)</li> </ul>	調整役
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者のインタプリター</li> </ul>	調整役
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・✓研究推進活動の中で高い研究アクティビティの創出をプロデュースするのに必要な業務を統合する人材とそれを〇〇するための多様な人材</li> </ul>	調整役
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容を理解しつつ、現場で幅広い知識で研究者と並走することが重要と考える</li> </ul>	研究知識
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者が必要とする業務のすべてをこなす人</li> </ul>	研究全般
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究と事務・大学と企業・大学と官公庁のパイプ役</li> </ul>	調整役
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員・学生・事務の3つのパフォーマンスを最適化して最大の研究成果をあげる職</li> </ul>	調整役
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究管理支援を主業務とする。外部資金獲得の為の施策情報の集約、分析、申請。獲得資金の運用管理。研究進捗管理支援。成果のまとめ知財出願管理</li> </ul>	研究費獲得・管理
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性のあるパーフェクトな人材</li> </ul>	研究知識
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何でも屋</li> </ul>	調整役
Q12 研究会の開催地および開催時間について意見があればお書きください(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切</li> <li>・できれば東京方面が大阪方面の交通が便利なところでの開催を望みます。時期はもう少し早い方が良い(年末は忙しいため)</li> <li>・東海道上が良い</li> <li>・金沢は不便である</li> <li>・交通の便が良ければどこでもよい</li> <li>・東京(東京近辺)を希望します</li> <li>・よかったと思う</li> <li>・楽しい場所が良い。東京以外</li> <li>・URA活動が活発な大学。見学を含めて開催してはどうか。AMIに見学PMIに研究会</li> <li>・金沢大学でもよかった。やはり東京だと便利だが地方でもよい</li> <li>・ポスター発表の時間を長くしてほしい。(展示数多い為意見交換できないポスターがあった)また会場が狭くポスターを見るのが難しかった。半日ではあったが内容の濃い会であったので大変有意義でした。ありがとうございました。</li> <li>・2daysにするなど、じっくりした形にしてほしい</li> <li>・現状でいいと考えるが、他の産学連携関連のイベントとの連日開催、併催、東京や京都での開催を検討してはどうか</li> <li>・非常に適切でした</li> <li>・もう少しディスカッションの時間を取った方がよい気がしました。</li> <li>・短いのもつたいない。場所は不便でもよい。ホテルでなくてよいのです。</li> <li>・いつでもOKです</li> <li>・どこでもよい。今回は日帰り出張のため懇親会に出られないので、懇親会がもう少し早い時間(17時〜)だとありがたい</li> <li>・開催地・時間配分共に適切であった</li> <li>・できれば東京であるとうれしいです</li> </ul>	
Q13 研究会の様子をネット配信する計画がある場合、それに対してどう思いますか?ご意見をお聞かせください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期尚早可と思います。曖昧点多く誤解を招くのでは</li> <li>・見てみたい</li> <li>・よい ぜひ</li> <li>・プライバシー保護をうまく処理して進めてほしい</li> <li>・便利でよいと思います</li> <li>・不要</li> <li>・どちらでもよい</li> <li>・むずかしい気がする</li> <li>・生中継ではなくネット配信に合った部分を編集してするべき</li> <li>・事前に通知していないので不可だともう</li> <li>・聞くだけ見るだけでたりなのか疑問</li> <li>・集まることに意義があるので後日録画したものの配信することは賛成</li> <li>・Ustream中継はいかがでしょうか</li> <li>・よいと思う。ただし事前に傍聴者にも周知しておく必要があり、配信を希望しない人への配慮が必要</li> </ul>	
Q14 今後研究会で取り上げてほしいテーマは何ですか?(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわゆる事務の位置づけ</li> <li>・URAの評価について</li> <li>・RA育成プログラム。RA雇用のための人事制度</li> <li>・私大と旧国立での取組みの対比</li> <li>・URAの評価について人材確保策について</li> <li>・具体的にどういう事をしているか</li> <li>・研究評価、事業評価とURA</li> <li>・RAスキルの枠組み</li> <li>・D生かたのキャリアチェンジとURAの魅力</li> <li>・具体的なRAの育成プログラムとその効果</li> <li>・URA業務の類似化など</li> <li>・実務者同士の日頃の疑問質問をグループワークで意見交換する場</li> <li>・事例集みたいなのがあるといいと思います</li> <li>・URA(類似職含む)働く方からの要望を受けての組織内対応</li> <li>・RAに係る経費について(人件費など)</li> </ul>	

	<p>・研究者、大学事務とのコミュニケーションの取り方。日本の大学における外部資金の位置づけ等</p>
<p>Q15 その他、会の運営等についてご意見・ご感想等あれば、ご自由にご記入ください</p>	<p>・会の運営には大学事務の力を借りていながら主催者あいさつで触れていないのは問題では</p> <p>・ポスターセッションの時間が短くて、ほとんど見れなかった。全体的にあわただしい感じがあった。せっかく人数も集まっているので、半日ではなく丸一日使った会でも良いのでは？</p> <p>・有意義なディスカッションのためには、研究者も交えて議論した方が良いと思う</p> <p>・お忙しい中ありがとうございました</p> <p>・本日は大変お世話になりました。ありがとうございました</p> <p>・人数に比べ会場が小さすぎ。ポスターに近づくこともできなかった。ワークショップの時間が短すぎ。また、内容が浅すぎ。議論が深まらない。</p> <p>・資料を8upで印刷すると見えません。4upまでにしてください</p> <p>・小規模な開催希望</p> <p>・会場選定、運営、コーヒープレイク、スマートでまとまっていて非常にいい印象を受けました。</p> <p>・実務者がもっと意見交換できる時間を設けてほしい</p> <p>・ポスターセッションのスペースが日理と良いです</p> <p>・定義に関しては、RAというカタカナ職名ではなく漢字表記を考えればよいのでは？</p> <p>・ポスターセッションが良くなかった。(見づらい配置・狭い)</p> <p>・ワークショップの時間が短く感じた。他大学のいろいろな取り組み、考え方を共有できるようにできるとよい。</p>